

平成16年度第1回「鳥取市政懇話会」産業振興部会 会 議 要 旨

日時：平成17年1月27日（木）

午後4時10分～5時10分

場所：鳥取市役所駅南庁舎会議室

出席者

【委員】安養寺幸男、宇津原恵美、大木戸武敏、太田義教、川上一郎、坂本匡範、四宮昭彦、橋本保、水根富士雄、山本朝子

【鳥取市】石谷副市長、大西経済観光部長、山下農林水産部長

1. 開 会

2. 自己紹介

3. 部会長・副部会長の選任

事務局から部会長として清水昭允氏、副部会長として太田義教氏を提案し承認。

4. 議事

(1) 部会の進め方について

◎事務局 説明

○委員 部会の開催日程を3ヶ月単位程度で早目に日程を示して欲しい旨要望あり。

○石谷副市長 なるべく要望にそって対応する。

(2) 市の現状・課題の報告

●大西経済観光部長から説明（概要）

・商工サービスの振興

地域の経済基盤、企業の競争力の強化、高速道路開通を見据えた工業団地のあり方、伝統産業の付加価値づくり、多くの匠の発見、技術の継承、商店街の振興

・新しい産業の創出

産学官連携、企業家育成、環境産業への支援、地場産業支援、公設市場機能の強化

●山下農林水産部長から説明（概要）

・営農組織の育成と就農、定住

耕作放棄地増加の現状、後継者育成、担い手支援、10年後のムラの姿を見据えた政策、農家への経営診断、新規就農に係る都市間競争、将来の保証の確保

・林業振興のための県産材利用

国土保全、水源涵養の面から林業振興は重要、採算性の低さによる後継者難、荒れた林地、公共工事等への県産材利用の推進、新たな利活用方法を模索

(3) 意見交換（概要）

○委員 7次総で終了したもの、継続するのも、8次総に繰り越さなくてはいけないとい

う事業などの見極めが基本になる。

- 委員 農林業と漁業は密接な関係があり漁業の議論も必要。
- 委員 16年度の100人委員会で提案された意見はどうなっているのか。周辺の農村が元気がないと市街地の活性化が図れないのではないかと(誓文払いもなくなった)。広域的な農業政策が見えてこない。産業では交通網も大事ではないか。
- 委員 誓文払い中止されたのは、中心街の力が弱いから。プレミアム商品券の市の負担額は？
- 大西部長 3億円分作成、市は1,500万の負担
- 委員 気高町の総売上は1億400万。
- 大西部長 大店を抜いた衰退している商店街の支援という形で考えたものであり、市での売り上げは限られた部分になる。
- 委員 例えば商工と農林で課題の絞り込み方が違う。そういうものを認識しないままですぐ議論すると限られた日程の中で、どこの視点でどういう位置づけになり、どういう理念があるかなど混乱する。むしろ、この部会を2つにでも割って、専門的に議論しその後まとめる方が良いのではないか。
- 石谷副市長 市政懇話会に市長が期待しているものは、総合計画に向けていろいろな建設的な御意見をいただくこと。深く掘り下げるものでなく、限られた時間内での建設的な御意見をということ。旧市町村の総合計画、100人委員会のテーマ、「新市まちづくり計画」のダイジェスト版等を資料として提供する。その資料を踏まえ、総合計画にはこういう点を検討しろという御提言をいただければありがたい。
- 委員 部会は提言する立場でないし集約はかなり無理なのではないか。直面する課題について今投げかけられてもよくわからない。発想を変えて答えれば良いとは思いますが。2回ではちょっと無理じゃないか。
- 委員 事前に協議して欲しいテーマを送付してもらい、それぞれの得意分野で提言し集約すればどうか。宿題があったほうが良い。
- 委員 新鳥取市は大農業都市で田舎が増えた。2007年問題が大きなテーマとしてあり田舎暮らしはマーケットになる。そこに市が何をどうアピールできるかもテーマになる。
古いまちなみとか田舎とか新しいキーワードが生まれませんか。
- 委員 そもそも議論すべきテーマをもっと議論するのか、テーマは事前に組まれているものか、意見は思いつきでいいのか、後で集約するのかしないのか。そこを整理できないか。
- 委員 広大なテーマを絞るのか絞らないのか問題が出てくる。例えば8次総に対する商工振興部門だけの論議でいいのか。7次総から8次総に向かっている商工、農林すべての論議をするのか、その中の一部分の問題点だけを論議するのわからない。

- 大西部長 説明した課題をテーマとして語ってくださいということでない。今の鳥取の特性を見てどういう形で施策に生かしていけばいいのか、発展させていくための意見はどうか、そういうことを求めている。例えば総合計画の中には「匠」というものを絶対挙げておいてもらわないといけないのであれば、それを取り上げればよいと思う。課題はある一部の参考の意見として申し上げたと理解していただきたい。
- 委員 あまり難しく専門的に語り合うということとはできない。「夢があり、誇りの持てる20万都市」を頭の中に入れて、まずは夢を語って、ではそれを具体的にどうするかということに行政の方たちのお力をいただいてという話し合いなら参加できる。
- 委員 一応テーマとしては8次総に向かって望むものとかそういう協議テーマにして、田舎、山間地が増えたということを頭に置きながら、専門的な意見も含め、意見交換することでもいいのではないか。
- 山下部長 5年10年先の進むべき道を作っていくといかないといけない。専門家の意見も踏まえ、こうあるべき、進むべき道を誤らない具体的なアドバイスも欲しい。
- 委員 話題性のある新規事業を皆さん考えてくださいということなら、無茶苦茶になりはしないか。市の執行部が考えているものをいいか悪いか判断してほしいというのも問題。夢を語ってもいいのか、その夢を入れてくださいと言えればいいのか。新都市づくりがどういう計画になっているかということも知っておく必要がある。
- 委員 8次総のテーマについて知恵を貸してくれということであるので、送付された資料からそれぞれの分野から誇れるものを抽出し、ここの部会で協議するということが良い。
- 委員 大きなスタンスでもいいし、そうでなくてもいい。7次総の結果はどうか、新まちづくりの骨子はどうかということの中から、必ず入れるべきもの、そうでないもの、様々な意見を今度出していただく。次回は皆さんがそれぞれ意見を必ず言うてもらう。
- 石谷副市長 テーマに縛られる必要はない。多方面からいろんな意見を出していただき、8次総についてはこういうものを盛り込めとか、あるいはこれは絶対やらなくてはならないとか、幅広い御提言をいただくことが大切。

※第2回部会を、2/25午後2時～4時とすることで確認。

5. 閉会